

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年3月26日

事業所名:はなのき放課後等デイサービス

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		多機能型として生活介護とのスペース確保、時間による配慮をしています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		法令で必要とされている職員を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設全体でバリアフリー化の配慮をしています。	老朽箇所、改善要望箇所については、可能な限り改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		担当職員会議と個別支援計画に基づき実施しています。	今後も担当職員会議を月1回は実施し、情報を共有します。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査による大きな変更事項はないが、より利用者のニーズや意向を把握できるように努め、業務改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		花ノ木ホームページで公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、必要に応じて行っていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		花ノ木医療福祉センター主催の研修に参加し、情報共有しています。	研修に参加出来なかった職員へは伝達等により共有します。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		事前にご家族からの聞き取りと了解をいただき、情報収集によりアセスメントを行い、個別支援計画に反映させています。	利用者と面談実施し計画作成しているが個々人のニーズも違い、客観的に分析した上で対応していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	主に身体の状態や医療的ケアの内容が把握できるツールを使用しています。	発達状況が把握出来るツールも併用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	臨機応変に児童指導員がプログラムを計画し実施しています。	児童指導員が立案したものを全職員で検討、実施します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		ご家族からの希望により、必要な活動を行いつつ、臨機応変な対応をしています。	個別と集団の両面で計画的に行っているが、休まれた時の対応が検討課題です。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日は個別対応を中心に設定しています。	きめ細やかな設定は今後の課題です。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	1日の利用児童人数によって、その都度、活動内容を検討し対応しています。	長期休暇中の活動については模索しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当日に都度行っています。	複数人の対応が必要になった場合の動きを常に検討しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	送迎職員が変則で対応している為、確実には出来ていないが、後日会議で話し合っています。	必要なことを常に書面等で、皆が共有できる方法で確認していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		発作や呼吸状態等の観察が必要なこと、活動においてはアプローチによる表情の変化なども記載し、必要に応じて口頭、書面にて情報共有を行い対応しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年間計画予定をたて計画後6ヶ月モニタリングを実施するようにしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ご家族の介護負担が少しでも軽減できればと週1回だが、入浴サービスを取り入れています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童の状況を把握している。常勤の児童指導員や係の看護主任が対応しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との情報共有は事前に行い、保護者に月単位の利用日予定を確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		受け入れ前に主治医を確認、ケアの内容等で確認が必要なことはご家族を通して確認、了解があれば主治医に直接確認しています。	情報確認は行っているが連絡体制としては整えられていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の了解を取り、情報共有・相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象となる利用者はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		同一法人内各部署と支援方法の確認、情報共有を行う体制はできています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後の検討課題としています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		福祉保健圏域内の自立支援協議会に放課後等デイサービス事業所の集まりがあるため、集まりの意図を確認し、こちらの参加目的等を明確にしたうえで、必要であれば参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳で日頃の様子をお伝えしています。	課題については計画時の面談のみになっており、その都度要望がある時は対応しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		家族との関係構築を優先し、一緒に考える機会を設定する必要がある場合は検討します。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に説明を行い、文書もお渡ししています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談に応じており、悩みをお聞きしたり、支援についての共通認識を取り合っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会はありません。	放課後等デイサービス事業所として、保護者会等を立ち上げる必要があるのかをご家族とも話し合いながら検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置しており、契約時に説明、速やかに対応出来る体制があります。	現在、苦情はありません。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	花ノ木の所内報を保護者に配布しています。	独自の会報については検討していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護規定を全職員に周知しています。	研修も実施していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時や連絡帳で様子をお伝えしています。	十分に配慮できているかは評価できていない為、ご家族からの意見を集約し、工夫していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		花ノ木ふれあいまつりとして法人と保護者会共催の行事に参加しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各対応マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には面談等で伝達しています。	保護者にも周知出来るよう、工夫・検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		生活介護と一緒に実施出来るよう計画・実施しています。	年間計画として実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		花ノ木での虐待防止研修に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援計画の面談時に身体拘束についての説明と、やむを得ない場合の同意をいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約の際、家族にも確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例があった場合は報告書を作成し事業所内で共有し対策をたっています。又センターの医療管理委員会に報告しています。	